



アフガニスタン ニュースレター

最新のニュース

カルザイ氏大統領に就任

注目のアフガン情勢

- 5歳以下の子ども内の90%がポリオのワクチンを接種した。
- 200,000ヘクタールの土地が灌漑事業計画の恩恵を受ける。
- 2002年以降500万人以上の難民が帰国

2009年11月19日、ハミッド・カルザイ氏が二期目となるアフガニスタン大統領に就任した。アフガニスタンの歴史にとって重大な意味を持ち、民主主義のプロセスを強化する証となった。就任式にはパキスタンのザルダリ大統領や米国のクリントン国務長官を含む約800人の来賓が大統領宮殿に招かれた。カルザイ大統領はアフガニスタンを支援する世界の協力者たちに感謝を述べ、汚職や麻薬売買に対して闘い、任期の5年間の間に国家の安全を高めることを誓った。

大統領の就任スピーチは以下のリンクで聞くことができます：

http://president.gov.af/Contents/72/Documents/960/President_Karzai_s_Inaugural_Speech_Nov.pdf



11月19日（木）カルザイ大統領が就任式でのスピーチの様子

国連安全保障理事会（UNSC）はカルザイ大統領と仕事ができることを楽しみにしている

ハーミド・カルザイ氏が大統領に選ばれたという選挙管理委員会の公表を受け国際連合安全保障理事会

（UNSC）の代表らは選挙結果を認め、「新たなアフガニスタンのリーダーとそのチームと共に働くことを楽しみにしている」と述べた。さらにアフガニスタンの人々の自国に対する断固たる活発な決意を祝し、引き続き国際連合や国連アフガニスタン支援ミッション（UNAMA）を通じてアフガニスタンの人々や政府の平和、安全、安定に向けて支援していくことを快諾した。

11月15日ポリオ最終段階に着手
保健省のDr. Muhammad Amin Fatimie大臣は、11月15日にポリオに対するワクチン接種のキャンペーンの最終段階である第6段階が開始されたと明言した。このキャンペーンは5歳以下の子供770万人を対象としている。記者会見において、Fatimie大臣は3日間のキャンペーン期間の間の安全を確保するよう、地域住民、成人、宗教学者、礼拝リーダーらに呼びかけた。その他、キャンペーン期間中、呼吸器疾患を予防するカプセル

(Continued on page 2)

もくじ

最新のニュース	1-5
イベント情報	5
オマールのキッチン	6
アフガンの言葉を学ぼう	7

も生後6ヶ月から5歳までの子供に配布されると述べた。今年度最後となるポリオ撲滅・ワクチン接種キャンペーンは3日間行われる。

H. E. Minister Stanekzai 大統領顧問と代表派遣団、東京を訪問

2009年11月24日:大使館スタッフとその友人たちが大使館へ集まり、カブールから来日した代表派遣団を歓迎した。写真に写る代表派遣団のメンバーは、国家安全顧問代理のH. E. Mr. Shaida Mohammad Abdali (写真: 左から4番目) 大統領顧問H. E. Minister Mohammad Masoom Stanekzai(写真: 左から5番目); 外務省政策顧問Dr. Davood Moradian, (写真: 左から7番目); 地域の復興と開発を担当するMinistry of Rural Rehabilitation and Development の大臣代理H. E. Mr. Wais Ahmad Barmak (写真: 左から8番目)



アフガニスタン大臣、コロンビアで受賞

地方都市改善・発展に・イ努めるMohammed Ehsan Zia大臣は、アフガニスタンでの国家連帯プログラム (NSP) の成功に指導者として大きな功績を残したとして表彰される。アフガニスタンの大臣が地域活性計画において実績を認められたのは今回が初めてのこと。この大臣の名誉ある受賞はコロンビアの都市メダリンで開かれた、発展政策の実施に関する委員会の第一回合同

会議にて確定した。2003年に創設されたNSPと、継続して支援を続けてきた世界銀行、アフガニスタン和平信用ファンドは、女性に選挙権を認めた完全民主選挙を通して、地域単位での発展に焦点をあてた政府形態を作った。NSPは東洋の発展と政府計画を通して男性、女性、コミュニティーの協調を促進した。それゆえに、大臣がこの賞を地域発展協議会とアフガニスタンの地域住民に捧げることが、いささかの不思議も無い。

ハキミ大使「アフガニスタンにおける平和構築と民主的なガバナンス」講演

ハキミ大使は11月14日に法政大学の会談において、「アフガニスタンにおける平和構築と民主的なガバナンス」という題目でスピーチを行った。ハキミ大使のスピーチは、アフガニスタンの歴史、成果、そして課題に着目したものであった。日本の外務省、国連、学者の各代表も同様にスピーチを行った。



11月10日、五井平和財団、エブラハミ氏のエッセイに賞を授与

2009年11月10日、アフガニスタン大使のハキミ氏とアジミ氏が、五井平和財団とエブラヒミ氏と会見した。五井平和財団はアブラヒミ氏に国際作文コンテスト若者の部において、氏のアフガニスタンについての作文を

称え最優秀賞を授与した。作文は以下のサイトから読むことができる。

www.goipeace.or.jp/english/activities/programs/2009/winners/winner02.html



日本がアフガニスタン支援に50億ドルを寄付

鳩山由紀夫首相は、11月10日、カルザイ大統領との電話会談で、アフガニスタン復興支援に向け、5年間で総額50億ドルを拠出すると伝えた。鳩山首相はまた、大統領選挙の成功と、カルザイ大統領の再選を祝った。カルザイ大統領は、過去7年にわたる日本の支援および新たな誓訳に対して鳩山首相に謝意を示し、アフガニスタンに平和をもたらすための日本の貢献を高く評価する、と述べた。カルザイ大統領と鳩山首相は、日本からの援助資金を効果的に運用するためのメカニズムを構築していく点についても合意した。今回の規模の援助資金の拠出をドナー国が表明するのは、8月20日のアフガニスタン大統領選挙以来、初めてである。(2009年11月10日)

日本政府、アフガニスタンの女性と子供たちの支援のため、460万ドルを提供

アフガニスタンの子どもたちのための免疫計画をより進めるため11月8日アフガニスタンにおいて

(Continued on page 3)

日本政府と国連児童基金 (UNICEF) の間で協定を結んだ。460万ドルもの日本からの寄付により770万人以上の子どもたちが感染症を予防でき、蔓延を防ぐことが期待できる。

閣下によると、廣木重之駐アフガニスタン国大使とキャサリン・ムベング国際連合児童基金アフガニスタン事務所代表は、カブール市内の公衆衛生省での式典で、アフガニスタンの公衆衛生大臣やS. M. アミン・ファティミー医師、ピーター・グラフ世界保健機関アフガニスタン事務所代表らのいるところで書簡の交換を行った。

ポリオ、麻疹、ジフテリア、百日咳、破傷風、肝炎、インフルエンザ、結核に対する組織的な免疫は、長期にわたる子どもたちの健康の増進と死亡率の低下のためには必要不可欠である。日本政府からの新たな補助金により全国一斉投与のワクチンや日常的な免疫に必要な補給品を得られる。これによりミレニアム開発目標の4と5にあたる5歳未満児の死亡率の削減と妊産婦の死亡率の削減を助長する。

アフガニスタンの公衆衛生省は日本政府の大いなる貢献に感謝を示し、アフガニスタン政府は幼少時の病気の根絶に注力している。

いたが、この校舎ができることによってより多くの女の子が学校へ通えるようになる。Ghazni州には55の学校があるが、半分以上が校舎も持っていないのが現状である。

Faryabで96の政策が実施される

地方復興開発省 (MRRD) による国家連帯プログラム (NSP) の下で、96の発展政策が北ファーヤブ地方のパクタン・コットで完成した。地方の76の村で約2万2000人の家族がこのプログラムによって利益を得る。一年をかけたこのプロジェクトでは、ハンドポンプをつけた井戸を50掘り、5キロメートルの水補給用パイプラインを完成させた。また、2箇所に貯水池、8箇所に貯水用タンクを建設し、16キロメートルに渡る水供給のパイプラインと143メートルの運河において修繕工事を行った。更には、68メートルのウォーターヘッドの建設、学校とコミュニティーセンターの創設、122キロメートルに渡る道路の整備、61の橋と1830メートルの防護壁の改善も実施した。

このプロジェクトは、女性のための識字教育やテイラーコースなども設けていた。

北部において、29の政策が完了

地方復興開発省 (MRRD) の国家連帯プログラム (NSP) の下

(Continued on page 4)